

部局名	教育委員会	所属名	教育センター	所属長名	西山 芳郎	電 話	486-9588
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3916		事務事業名称	小学校コンピュータ教育事業					短縮コード	経常	3916	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		I T戦略本部による「重点計画－2 0 0 7」にて 次世代を見据えた人的基盤づくり－すべての子供と教員に最高のIT環境を，効果的な教育・学力向上を目指して－ をめざした、機器整備等の指針が示された。						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
「文部科学省ミレニアムプロジェクト」（平成1 2年度から1 7年度）の発足により、教育現場における情報機器の活用・情報活用能力の育成等を求められた。またそれに伴い、全小中学校のコンピュータ整備と教室からのインターネットに接続を可能にする等の詳細数値が示された。それに従って各学校のコンピュータ室に児童生徒用のパソコンが4 0 台配置されるなど、情報教育推進のための環境整備を進めてきている。I T戦略本部「重点計画－2 0 0 7」では、さらなる整備が目標とされているため、今後より一層の事業の充実を進めていくことが必要である。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして					
情報機器やソフトの整備に関して「文部科学省ミレニアムプロジェクト」により、全ての教室でインターネットやプロジェクター等を利用した授業ができるように平成1 7年度迄に整備することを求められており、八千代市においても整備を着々と進め、校内LANの整備に関してはほぼ完了している。I T戦略本部「重点計画－2 0 0 7」では、教科指導におけるI Tの活用、児童生徒の情報モラルを含む情報活用能力を向上させることが掲げられており、本事業の重要性は一層高くなっている。また、平成15年までに整備した校内LANの設備が老朽化してきていること、2010年までに、すべての教員に対しコンピュータを整備することなど、整備の見直しとさらなる推進が必要となってきた。						大項目（節）	01	学校教育					
						中 項 目	02	義務教育					
						小項目（施策）	01	教育環境の整備					
						細 項 目	02	施設・設備の整備					
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市内小学校の児童並びに教職員						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： コンピュータ機器借上，保守，整備						
	※平成20年度に計画していること： コンピュータ機器借上，保守，整備						
意図 （何を狙っているのか）	市内全小学校における情報教育の充実						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外						
区 分			単位	1 8 年度	1 9 年度		2 0 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	市内小学校の児童数	人	11, 345	11, 459	11, 459	11, 765
	指標 2	市内小学校の数	校	21	22	22	22
	指標 3						
活動指標	指標 1	市内小学校のコンピュータ数	台	1, 560	1, 560	1, 560	1, 560
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	コンピュータ 1 台あたりの人数	人	7. 2	7. 3	7. 3	7. 5
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

